

第九十回
帝國議會
貴族院

勞働關係調整法案特別委員會會議事速記録第一一號

付託議案

○勞働關係調整法案

昭和二十一年九月十一日(水曜日)午前十時十一分開會

○委員長(男爵渡邊修二君) 是ヨリ開會致シマス

○子爵秋月種英君 經營協議會規約例ヲ觀テ居リマスガ、其ノ經過ハドウナツテ居ルカ、若シ出來マスナラバモウ少シ内容ノ變ツタノガアリハセヌカト思フノデスガ、ソレヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉武惠市君) 經營協議會ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、實ハ勞働組合法ガ今年ノ三月一日カラ施行ニナリマシタガ、爭議ハ組合法ガ施行ニナリマスル前カラ、御承知ノヤウニ昨年ノ春頃ヨリ段々多クナリマシテ、一月、二月、三月ガ一番頂點デ、四月、五月頃カラ漸次少クナツテ居リマス、全體一月、二月頃ノ爭議ハ、御承知ノヤウニ非常ニ「インフレ」ガ昂進致シマシテ、生活難ヲ感ヘテ參リマシタノデ、賃金ノ値上ガ爭議ノ大部分デゴザイマシタ、ソレカラ三月頃カラ經營協議會ノ問題ガ爭議ノ又一ツノ主要目的ニナツテ來マシタ、四月頃カラハ賃金ノ値上ハ大體解決サレテ參リマシテ、寧ろ經營協議會ノ方ガ爭議ノ種ト言ヒマスガ、主要ナ紛爭ノ問題ニナツテ來マシタ、ソコデ經營協議會ノ中ニハ非常ニ行キ過ギタモノガアリマシテ、人事カラ配當カラ總テ一切勞働者ト資本家側トノ所屬協議會デ決メナケレバナラヌト云フヤウナ要求ガ相當出

テ來マシタ、ソコデ政府トシテハ此ノ問題ヲナントカ指導シナケレバナラヌト云フ問題ニナツテ來タノデアリマス、ソコデ吉田内閣ガ出來マシタ當初ニ、御承知ノヤウニ社會秩序維持ニ對スル聲明ガ出マシタト同時ニ、書記官長談ヲ以テマシテ經營協議會ノ在リ方ヲ一應説明シタ譯デアリマス、ソコデ政府部内ト致シマシテハ、經營協議會ニ付テ斯ウ云フ風ナラバ法律デ一ツ粹ヲ作ツタラドウドラウカト云フ意見モアツタノデアリマス、曾テ第一次ノ歐洲大戰後ニ、「ドイツ」ニ於テハ經營協議會法ト云フ法律ヲ出シマシテ一定ノ粹ヲ作ツタコトガアルノデアリマス、併シナガラ其ノ成績ハドウカト申シマスルト、餘リニ劃一的ニナリマシタ爲ニ、經營協議會ト云フモノガ全國ニ非常ニ普及ハ致シマシタガ、實際ノ活用ニ無理ガアツテ殆ドウハナクオツタト云フコトデ、數年ナラズシテ止メナケレバナラヌト云フヤウナ狀況ニナツタノデアリマス、從ヒマシテ此ノ度ノ日本ニ於キマシテモ、經營協議會ハ結構デアルケレドモ、之ヲ法律ヲ以テ劃一的ニヤルト云フ、強制スルト云フコトハ宜クナイト云フ態度ヲ執リマシテ、指導行カウト云フコトニ致シタノデアリマス、ソコデ政府デカガ此ノ問題ヲ決メルト云フヨリモ、中央勞働委員會ニ於テ使用者側及ビ勞働者側ノ代表ガ出テ居リマスカラ、ソコデ一ツ能ク研究サシテ貰ツテ、ソレヲ政府ガ採リ上ゲウツ云フコトデ、中央勞働委員會ニ早速諮問サレテ、ソレデ出

來上リマシタノガ只今御手許ニ御配リ致シマシタ經營協議會指針ト云フ案デアリマス、ソレガ大體政府ガ考ヘテ居リマス線デゴザイマシテ、先般厚生大臣カラモ御話致シマシタヤウニ、人事トカ經理ト云フヤウナ部面ハ經營協議會デ決定シタルト云フ風ナコトハ宜シクナイ、ソレハマア使用者側デ適當ニ説明スルトカ了解ヲ求メルト云フ位ハ宜イケレドモ、經營協議會デ決定スルト云フコトハ宜シクナイ、併シ勞働條件ハハ經營協議會ニ掛ケルノガ宜カラウ、ソレカラ勞働條件以外ノ生産ノ計畫ノヤウナモノモ、是ヲ使用者側ガ一方的ニ制テルト云フヨリモ、勞働者側ノ意見モ聽イテ、サウシテ生産ノ計畫ナリ生産ノ方法ナンカハ協議シテ行クノガ宜クハナイカト云フ風ナ態度ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、ソレデ協議會ノ例ト致シマシテハ、是亦御配リシテ居リマス中ニアリマスヤウニ、是ハ色々ナモノヲ採上ゲテ居リマス、非常ニ極端ナモノモ拾ツテゴザイマスシ、中程ノモノモ拾ツテアル譯デアリマスガ、大體ノ傾向ト致シマシテハ、三月四月頃、非常ニ爭議ガ頻繁ナ時ニ結バレマシタ、勞働協約ニ依リマスル經營協議會ハ、ドチラカト云フ、少シ行過ギノ點ガアルヤウニ見受ケテ居リマス、併シナガラ政府ガ聲明ヲ致シマシテカラ後、協議會ハ、漸次穩健ニ進ミツ、アルヤウニ存ジテ居リマス

トデアリマスカラ頂戴シタイト思ヒマス

○政府委員(吉武惠市君) 次回迄ニ準備致シマシテ差上ゲルコトニ致シマス

○片倉兼太郎君 十分バカリ遅レテ、只今ノ經營協議會ニ付テノ御話ヲ承ルコトガ出來ナカッタノデアリマスガ、勞働組合法ノ第一條ニ、「勞働者ノ地位ノ向上ヲ圖リ經濟ノ興隆ニ寄與スルコトヲ以テ目的トス」トアリマス、此ノヤウナ場合ニ於テ、一體ドウ云フコトガ經濟ノ興隆ニ寄與スルカ、具體的ニ何カ御説明ガ出來マシタラ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ經營協議會規約例ト云フノガアリマスガ、石井鐵工所ノ運轉ノ協議會デ第六條ニ資金トカ資材トカ云フヤウナコトガアリマスガ、ソレハドウ云フ關係デ資金トカ資材トカ云フコトヲ經營協議會ニ掛ケナケレバナラヌモノデアリマスルカ、何カ理由ガアリマセウカ、是モマア事例デアリマスカラ、御覽キスルコトモ如何カト思ヒマスルガ、伺ヒタイト思フノデアリマス、勞働組合法ノ第二條ニアリマス一號ノ「使用者又ハ其ノ利益ヲ代表ト認ムベキ者」ノ參加ヲ許スモノトアリマスガ、是ハ一體誰ガ認ムルノデアリマスルカ、利益ヲ代表スルモノデアリマスルカ、誰ガ認ムルモノデアリマスルカ、サウシテは何ノ程度迄ガ一體使用者トカ、又ハ其ノ利益ヲ代表スト云フ程度ニ入ラレレルモノデアリマスルカ、假リニ之ヲ申上ゲテ見マスルト、地方ニ於ケル工場長ナドハ勿論利益ヲ代表スルモノト認メマスガ、

下ノ課長ト云フヤウナモノハ如何ナモノデアリマセウカ、是モ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ第三ノ御尋シタイノハ、無責任ナ第三者ノ爭議指導ニ關スルコトニ付テ、何カ勞働法トカ、勞働關係調整法案トカ、其ノ外施行令カ何カ、其ノ他ノ上ニ於テ、制限トカ禁止トカ云フヤウナコトガオアリニナリマセウナ、如何デアリマセウカ、其ノ次ハ生活ノ故ニ賃銀ヲ高ク拂フ、所謂生キンガ爲ニ優遇スルト云フコトハ當然デアリマスルケレドモ、其ノ賃銀ノ支給ガ餘リニ多クナツテ、會社ノ存立ガ出來ナイヤウナ場合ニ於テ、ドウ云フ取扱ト申シマスルカ、第五番目デアリマスガ、勞働基準法ノ第六條ニ公民權ノ行使ノ保障ト云フノガアリマス、此ノ公民權ト云フノハ、國家ガ定メラレタ投票デアルトカ、其ノ他已ムヲ得ナイト國民トシテ盡スベキコトニ對スル休日ノ保障トカ、或ハ休暇ノ保障トカ、或ハ時間ノ保障ト云フヤウナモノガアルベキモノデアルト私ハ思ツテ居リマスガ、勞働爭議ニ費スモノモ此ノ中ニ入ルモノカ否カト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ置キタイ、ソレカラ六番目ニ伺ヒタイコトハ、勞働關係ノ主事者ハ、只今ノ狀態デハ、勞働組合ノ一室デモ設ケレバ、ソコデ御茶ヲ吞ンダリ煙草ヲ喫ツテ居テ、仕事ヲシナイデ遊ンデ居ルノデアリマス、斯ウ云フ者ニ付テ何カノ制裁ト申シマセウカ、サウ云ウコトニ付テ何カ施行令トカ、或ハ規則ノ上ニ定メテオアリニナリマセウカ、伺ヒタ

イト思ヒマス、ソレカラ七番目ニ伺ヒタイノハ、矢張り勞働組合ハ組合ノ決議ヲ云フコトデ非常ニ多ク騒イデ居リマスルガ、私共ノ見タ所デハ、組合ノ決議ト云フテモ大部分ノ者ハ知ラナイデアリマス、即チ幹部ノ或數ノ者ガ勞働組合ノ決議ト云フテ、サウシテ外ノモノヲ附和同サセルト云フヤウナ程度ニナツテ居ルデアリマス、斯ウ云フヤウナ所ニ、勞働組合ニ使用者又ハ其ノ利益代表ト云フヤウナ者ガ臨ムコトガ出來得ルモノカドウカ又ソレヲ確認スル方法ガアルカドウカト云フコトモ、今後事業ノ經營ヲスル上ニ於テ必要ト思ヒマスカラ、之ヲ一ツ御意見ヲ承ツテ置キタイ、ソレカラ第八トシテ、此ノ程大臣カラモサウ云フヤウナ御説ヲ承ツタノデスガ、生産管理ハドウ云フコトノ爲ニ政府ハ之ヲ認メルコトガイケナイト云フ御趣旨デアリマセウカ、何ガ故ニ生産管理ト云フモノハ政府トシテハ御認メニナラヌト云フカ、マア御謙ヒニナルト云フカ、サウ云フコトハイケナイト云フコトデスガ、其ノ邊ヲ承リタイト思ヒマス、簡單ニ申上ゲマシタカラ、私ノ申上ゲタ所デ御分リニクイ所ガアツタナラバ御尋ヲ願ハバ又申上ゲルコトニ致シマス

○國務大臣(河合良成君) 只今ノ片倉委員ノ御尋ネデゴザイスマスガ、第一番ノ問題ハ勞働組合法第一條ノ「經濟ノ興隆」ト云フコトデアリマスガ、勞働關係調整法ノ第一條ニモ其ノ意味ノコトガ出テ居リマスガ、是ハ根本ノ問題ト思ヒマス、結局此ノ民主主義國家トシテ個人ノ基本權ト云フモノヲドウシテモ尊重シテ行カケレバナラヌ、ソレデ個人ノ基本權ヲ尊重スルト云フコトハ、結局一面ニ於テハ個人トシテノ勤勞權ト申シマスカ、勞働權ト云フモノヲ尊重シ、又生活ヲ確保シテ行クト云フコトハ、此ノ内容ノ目的ダト云フ建前ニナツテ居リマス、サウシマスルト、矢張り産業ト申シマスルカ、經濟トカ、各部面ニ於テ、企業家ト或ハ資本家ト勞働者トノ組合ニ依ツテ、大體ノ産業ガ進行シテ居ルコトハ問題ナイコトデアリマスケレドモ、其ノ産業ト云フノハ、矢張り一面ニ於テハ國家ノ爲ニ物ガ増産出來ルト云フコトヲ目標トスル同時ニ、一面ニ於テハ矢張り勞働者ノ生活ト云フモノガ立派ニヤツテ行ケルノダト云フコトガ前提ニナツテ、其ノ兩方ガ進ミ合フテ行クモノガアルノダト云フ建前ニナツテ居ルノダト、私ハ思ツテ居リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、從來ハ經濟ノ興隆ト申シマス、例ヘバ物ノ増産ガ非常ニ都合好ク行クト云フヤウナ點ガ主ニナツテ居タノデハナイカト思ハレル節ガアツタノデアリマスガ、今度ノ憲法案其ノ他ノ日本ノ國ノ建前トシマシテハ、人的ノ部分ト云フモノガ非基本ノイカトデアルト云フ建前デアテ居ルト思フデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ、勞働組合ニ於テ組合ノ發達ヲ圖ツテ行ツテ、サウシテ個人ノ生存ト權利トヲ確保スルト云フコトガ前提ニナツテ居リマスカラ、ソレガ發展スルコトガ矢張り經濟ノ興隆ト云フモノヲ意味ニ於テ經濟ノ興隆ト云フモノヲ私共ハ解釋スベキモノダト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ハ經營協議會ノ石井鐵工所ノ例デアリマスガ、是ハ多分行キ過ギタ内容強度ト認メルト云フ例ニ引イデアルノデヌリマシテ、

斯ウ云フコトハ大體政府ノ期待シテ居ル所デアリマセヌ、資材、資金等ノ面ニ付テ勞働者ガ積極的ニ關與スル權利ヲ持ツト云フ思想ニハ、成ベク行キタクナイ、併シナガラ協議ヲシテ意見ヲ聽クト云フコトハソレハモウ結構ナコトデアリマスルケレドモ、此處迄ノコトヲ協議事項トシテ兩方拘束スルト云フ所迄行キタクナイト思ヒマス、強度ノ例トシテ示シタノデアリマス、デアリマスカラ、政府ガ今度見本トシテ示サウト思フモノハ斯ウ云フ點迄觸レテ居リマセヌ、ソレカラ第三ハ問題ノ爭義ヲ指導著ニ關スル件デアリマシタガ、此ノ問題ハ實ハ非常ニ私ノ方デモムツカシイ問題デ、多少困ツテ居ル間題デアリマス、ト申スノハ、矢張り是モ民主國家トシテ、思想ノ自由ト云フコトハ、國民全體ニ認メラレタ基本的權利トナツテ居リマスカラ、ドウ云フ意味ニ於テモ思想ヲ研究スルト云フコトニ付テハ、少シモハ干涉スベキコトデモナイ、彈壓スベキコトデモナイノデアリマス、併シナガラ是ガ色々實際ノ事實トシテ現ハレテ來ル面ニ於テ、國家ガ公共ノ福祉ヲ増進スル爲ニ仕事ヲシテ居ル時ニ、ソレニ相反スルヤウナコトガ事實上起キテ來ルコトニ對シテ、ドウ云フ方法ヲ執ルベキカト云フコトハ、是非常ニムツカシイ問題デアリマス、現ニ此ノ勞働調整法ノ如キモ、其ノ調整ヲ目的トシタ法律デアリコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、更ニ進ンデ組合ノ指導ト云フモノニ對シテ、其ノ指導ハ國家カラ言ツテ好マシクナイト云フ狀態ノ時ニドウスルカト云フ問題ハ、當然考ヘラレル問題デアリマス、考ヘラレル問題デアリマスルガ、是ハ大體組合ノ自治

ニ任セルコトガ、組合ノ發達上必要ナル、言葉ヲ換ヘマスルト、此ノ組合ノ發達ト云フモノハ、是ハ國家ガ餘リ積極的ニ干涉シナイデ、本當ノ組合員ノ自覺ニ依ツテ段々是ガ向上サレテ行ク、又輿論ニ依ツテ是ガ指導サレテ行クト云フコトヲ目標トシタ建前ニシテ居リマスルノデ、之ヲ積極的ニ、其ノ指導運動ニ對シテ更ニ政府ガ之ニ權力ヲ及ボシテ行クト云フコトハ、考ヘ方トシテドウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、考ヘテ居リマスルケレドモ、是モ亦餘リ極端ニ行ツテ公共ノ福祉ニ適合セスト云フコトニナリマスレバ、是ハ又ドウ云フ風ニ考ヘルカト云フコトハ、是ハ又先ノコトニナルト思ヒマス、サウ云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ノ問題ハ賃銀ノ問題デアリマシタガ、是ハ賃銀ガ餘リニ高率ニナツテ、サウシテ生産トノ間ニ「バランス」ガ取レヌト云フヤウナ場合ナドガ起キララウト思ヒマス、ソレニ對シテ法律上何等カノ調整ナリ、制限ナリト云フコトノ根據ガアルカト云フヤウナ意味ノ御尋ト拜承致シマシタガ、サウ云フ意味トシマスルト、只今ノ所デハ何モアリマセヌ、是ハ此前ノ時ニ、中山委員カラモ、御尋ニナツタ點ト稍々觸レタ問題デアリマスルガ、只今ノ此ノ終戦後ニ於キマスル所ノ各種ノ經濟的ノ斷層ト申シマスカ、一面ニ於テハ、食糧ガ不足デアリ、又物資ガ不足デアリ、ソコデ生活ガ困難デアリ、「コスト」ガ非常ニ掛ルト云フヤウナ、色々ナソコニ調和ヲ缺イタ現象ガ實ハ只今非常ニ多イデアリマス、是ハドウシテ起ツタカト云フ原因ハ、是ハ言フ迄モナク戰爭ガ敗ケタ爲ニ起キタ原因、又戰爭中ニ非常ニ

物ヲ使ツタ其ノ反動トシテ起キタ原因、或ハ外國カラ澤山人ガ還ツテ來ル、或ハ終戦ニ付テ非常ニ國費ガ要ル、食糧ガ今迄非常ニ困難デアツタ、色々ナ點カラ、統制モウマク行カズ閣モ出テ來ルト云フヤウナコトデ、斯ウ云フ生活困難ト云フコト、即チ賃銀ノ昂騰ト云フコト、ソレカラ生産ノ不引合、結局「コスト」ガ引合ハヌト云フコトガ、是ガ併立シテ起ルヤウナ事態ニ直面シテ居ルデアリマス、是ハ御承知ノ所デアルト思ヒマス、之ヲ法律デドウシヨウト言ヒマシテモ、是ハ出來マセヌ、實際政府ハ勿論之ヲ如何ニ調和スルカト云フコトニ對シテ、物價體制モ採ツテ居レバ、ソレカラ失業救済モヤツテ、色々ナ面ニ於テ増産モヤツテ行クト云フ風ニ、是ハ「デフアレンス」モ出來ルダケ詰メルヤウナ政策ヲ執リ、今御承知ノ通り國民全體ガ努力シツ、アル所デアリマスガ、マダ此ノ缺狀狀態ト云フモノハビツタリ合ツテ居リマセヌ、ソコニ今ノ困難ガアルノデアリマス、サウシテ此ノ賃銀ノ問題ト「コスト」ノ問題ト云フモノハ、是ハ法律ヲ以テドウシテモ私共ハ解決出來ル問題デヤナイ、矢張り經濟ノ事相ト云フヤウナ點カラ來ベキモノデアツテ、現ニ食糧問題ガ斯ウ解決シマスレバ、「インフレーション」ノ前途ナドニ對シテ私共ハサウ悲觀的考ヘヲ持タヌト云フモノモツノ現ハレデアリマス、サウ云フ風ニシテ此ノ缺狀狀態ガ段々詰ツテ來ルト云フコトヲ國策トシテヤツテ行ク、政治トシテヤツテ行クト云フ點ニ重點ガアルノデ、是ハ法律的ナ問題トナラザル點デアルト私共ハ解釋シテ居リマス、從ツテ茲ニ或ハ「スト

ライキニ依ツテ賃銀ガ少シ行キ過ギニナルコトモアリマセウシ、又「ストライキ」ニ依ツテ足ラヌコトモアリマセウシ、其ノ爲ニ利潤ガナクナルコトモアリマセウシ、缺損ニナルコトモアラウシ、事業ガ推進セヌコトモアラウシ、ソレヲ抑切ツテ無理ニ事業ノ推進ヲ圖ツテ居ルコトモアリマセウシ、是ハ各職各様ノ状態デアルト思ヒマスガ、政府トシテハ、大體ノソレニ對スル政治、經濟ノ政策トシテ一ツノ線ハ設ケマスケレドモ、個々ノ場合ニ付キマシテハ、矢張り是ハ色々ノ場合々々ニ應ジテ自然ノ調整ヲ俟ツヨリ外ニ仕方ガナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、從ツテ最低賃銀トカ、最高賃銀ト云フコトヲ、具體的ニ申シマスレバ、只今デハ考ヘテ居リマセヌ、最高賃銀ト最低賃銀ト云フコトニ付テ考ヘナイ論據ハ又違ヒマス、最高賃銀ハ今ノヤウナ意味ニ於テ考ヘテ居リマセヌ、生活ト云フ問題ガ第一ダト云フ意味デハ、ソレヲ考ヘルコトハ妥當デナイト思ツテ居リマス、最低賃銀ヲ考ヘナイハ、是ハ別ノ意味デアリマス、詰リ只今ノ經濟ノ不安定ト、物價及通貨ノ不安定ト云フコトガ重大ナ原因ダト思ツテ居リマス、ソレカラ其ノ次ノ問題ハ、公民權ノ行使ノ問題デアリマシタガ、是ハ勞働基準法ノ草案ニ書イテ居ル問題デアリマスルガ、是ハ狭イ意味デ言ウタ選舉權ノ行使トカ、其ノ他法律上デ規定サレマシタ公民權ノ行使デアリマシタ、勞働爭議ヲヤツテ居ルコトガ公民權ダト云フ意味デハアリマセヌ、狭イ意味ニ解釋シテ居リマス、其次ノ問題ハ政府委員カラ答辯致シマス、ソレカラ次ノ問題ハ組合員ノ意思ダト稱セラレテ居ルモノハ、事實上ハ

組合員多數ノ意思デハナクシテ、幹部ノ一部ノ者ノ意思ガ組合全體ノ意思ダト云フヤウニ表明サレテ居ル場合ガ非多シイト云フコトデアリマス、是ハ事實サウ云フ場合ガ多カラウト私共モ思ツテ居リマス、唯ハ組合内部ノ決議ノ手續ノ問題デアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、組合員ノ自覺ガマダタラヌ、御承知ノ通り、勞働組合ノ發達ト云フハ最近ノコトデアリマシテ、組合ノ法律モ最近出來タコトデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ於テ組合員ガ未ダ自覺セヌ、本當ノ議決權ヲ自分デ行使シナイト云フ點ニ原因ガアルノダト思ヒマス、斯ウ云フ面ニ付キマシテモ、政府トシテモ出來ルダケ組合員ハ本當ノ自覺ニ目醒メテ其ノ議決權ヲ行使スルト云フ風ニ導イテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ノ問題ハ生産管理ニ關スル御尋ネデアリマシタガ、是ハ私共矢張り根本的ノ問題ダト考ヘテ居リマスルノデ、ソレハ憲法ニ於テ基本人權ヲ認メマシテ各人ノ自由及權利ヲ認メテ行ク、ソコデ其ノ自由、權利ト云フモノハ、具體的ニ申セバ二ツアル、一ツハ屬人的ノコトデアアル、ソレハ生存權デアリ、生命權デアリ、或ハ勤勞權デアルト云フヤウナ線ニ沿ウタ或ハ思想ノ自由デアリ、宗教ヲ信ズル自由デアルトカ、言論ノ自由デアルトカ云フヤウナ意味ガ權利デアアル、一ツハ財産權デアリマス、財産權ト云フモノハ、人間ガ其ノ財產權ヲ享有スル自由ト云フ意味デアリマス、ソレデハ財產權不可侵ト云フコトガ矢張り憲法ノ原則ニ謳ハレテ居ル譯デアリマス、此ノ二ツノモノヲ分ケテ考ヘネバナラヌデアリマシテ、其ノ財產權ニ付モノハ經營權デアリマ

ス、資本ノ所有デアリマス、サウ云フヤウナ風ニ考ヘテ宜イノデヤナイカト思ヒマス、ソコデ權利ハ御承知ノ如ク多數ノ人ガ之ヲ同時ニ權利ノ自由ヲ享有シテ行カナクチャナリマセヌノデ、自分ノ權利ノ自由デケテ享有シテ、外人ノ權利ノ自由ハドウデモ宜イト云フ問題デアリマセヌノデ、社會ト云フモノハ言フ迄モナク自分ノ權利ヲ主張スルト同時ニ、他人ノ權利ヲ尊重シテ行カナクチャナラヌデアリマス、ソコニ民主主義ノ本當ノ形アル、ソレハ社會共榮デ、共同ノ社會ト云フモノガ成立ツテ行ク所以デアリマス、ソコニ初メテ公共ノ福祉ト云フ觀念ガ出來タル譯デアリマスルカラ、其ノ他人ノ權利ヲ同時ニ尊重スルト云フコトガ民主主義ノ基本ニナツテ居ルト考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ問題ハ結局一ツノ工場ニ於テ財產權ノ行使ニ依ル所ノ經營權ガアリ、又勞働權ノ行使ニ依ル所ノ勤勞權ガアルト致シマス場合ニ、片方ノモノガ片方ノ分野ニ歸スル入ルト云フコトハ間違ヒデアアル、結局隣リノ垣根ヲ越エテ入ッテ、獸ツテ隣リノ畑ヲ耕スト云フトコハイカヌノデヤナイカ、向フノ人ノ承諾ヲ得ナレバ自由デス、サウ云フ意味ニ於テ、是ハ勞働權ハ自分ノ權利、自由ヲ主張スルノハ勝手デアアルケレドモ、外人ノ權利ヲ侵犯スルト云フコトハ宜シクナイト云フ建前ニ於テ、生産管理ト云フモノハ正當ナラズト云フ解釋ヲシテ居ル、ソレデ其ノ正當ナラズト云フコトハ二ツノ意味ニ解釋出來マス、一ツハ公法上ノ意味デス、ト云フノハ、外人ノ財產權ヲ侵犯スル場合ニハ、多クノ場合ニ於テ刑法上ノ問題ヲ伴ヒマス、從ツテモウ大部

分ハサウ云フ問題ヲ起シマスルカラ犯罪ニナリマス、公法上ノ意味ニ於テ適法ナラズト云フコトガ出マセウ、併シナガラ必ズシモ公法上ノ問題モ伴ハヌ場合モアルダラウト云フ推定ニナツテ居リマス、ソレハ少クモ民法上ノ問題デアアル、民法上ノ不法行為デアアルハ不法行為デアアルガ故ニ矢張り正當デハナカラウト云フ意味ニ於テ、ドチカラノ意味ニ於テ今度ハ正當性ヲ缺イテ居ルト云フ解釋ヲ採ツテ居ル次第デアリマス、
○政府委員(吉武憲市君) 只今御質問中ノ二點ニ付テ私カラ御答ヘ申上ゲマス第一點ノ勞働組合法第二條ニアリマス使用者又ハ其ノ利益ヲ代表スルト認メラレル者、是ハ誰ガ認定スルカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、是ハ勞働委員會デ審査ヲ致シテ居リマス、ソレデドウ云フ者ガ之ニ該當シ、該當シナイカト云フ基準ニ付キマシテハ、大體中央勞働委員會ニ於テ其ノ基準ヲ決定シテ居リマシテ、大體部長以上ノ者ハ之ニ該當スル、ソレ以下ノ者ハ該當シナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、但シ部長以下デアリマシテモ、人事ニ直接關係ヲ持ツテ居ルヤウナ者ハソレ以下ノ者デモ入ル場合ガアル、ソレカラ單ニ部長ト名前ハ言ツテ居ツテモ、餘リ使用者ノ代表ト認メラレ難イヤウナ者ニ付テハ別ニ考慮シテモ宜イト云フ風ナ線デ審査シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ、勞働組合ノ代表者ハ仕事ヲシナイデ遊ンデ居ルヤウナ場合ガアルト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、勞働組合ノ本當ノ指導者ハ本來ナラバ組合事務ニ専從スルノガ建前デゴザイマス、從ツテサウ云フ組合ノ指導者ハ會社カ

ラ俸給ヲ貰ハナイデ、組合費ヲ以テ賄ハシムベキデアアルデアリマス、併シナガラマダ現在日本ノ勞働組合ハ發展ノ過程ニゴザイマシテ、サウ云フ所迄進ンデ居リマセヌノデ、會社ノ従業員デ傍ラ組合ノ指導ヲシテ居ルト云フノガ實情デアラウト思ヒマス、サウ云フ風デ會社ノ俸給ヲ貰ツテ居リマスルモノニ付キマシテハ、是ハ會社ノ規定ニ從ツテ會社ノ業務ニ從事シナケレバナラナイデアリマス、唯併シメバ餘リヤカマシク言ハレマスルト云フト、折角健全ナ勞働組合ガ發達ショウト云フコトヲ妨ゲルコトニナリマスルノデ、仕事ヲシナガラ、仕事ニ大シテ支障ガナケレバ組合ノ指導ニハ便宜供與ヲ與ヘラレムコトヲ私ハ希望シテ居ル譯デアリマス、仕事ヲ全然シナイデ組合デケル仕事スルト云フコトハ、若シ使用者側ト勞働者側トノ間ニ於テ協定御決メニナレバ是ハ自由デゴザイマス、協約ニ依ツテ御決メニナルコトハ自由デアリマスルガ、サウデナイ限リニ於ケマシテハ、以上申シマシタヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス
○片倉兼太郎君 今申上ゲマシタコトハ言葉ガ足りナカッタト思ヒマスガ、今一ツ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、詰リ言ツテ見ルト云フト、使用者又ハ使用者ノ代表ト申シマスカ、今御話ノアツタ部長以上ノヤウナ者ノ人事ノ進退ニ對シテハ、勞働組合ト云フモノハ、要求ト申シマセウカ、之ニ對スル進退ナドハ勞働組合ガ爲スベキモノデアリマセウカ、如何デゴザイマセウカ、ソレモ一ツ伺ツテ置キタイ
○政府委員(吉武憲市君) 人事ニ付キマシテハ先程厚生大臣カラ御話ガアリマシタシ、私モ當初ニ申シマシタヤウ

ニ、一應經營協議會等デサウ云フ最高人事ヲ決定スベキモノデハナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ組合ノ方カラ人事ニ付テ要來スルコトガイケナイトハ言ヘナイト思ヒマス、使用者側ノ方デソレヲ受容セラレレル、受容セラレナイハ是ハ御自由デゴザイマスクレドモ、要求スルコトガイカヌト云フコトハ申シニクイノデハナカラウカト思ヒマス。

○片倉兼太郎君 私家今伺ツタコトハ、少シ何ト言ヒマスカ、或ハ分リ切ツタヤウナコトヲ伺ツタヤウニモ思ヒマス、私ハ現在ノ日本ガ敗戦ノ國トシテ、只今大臣閣下カラノ御話ノアリマシタ通り、勞資ガ協調シテ、共ニ携ヘテ再建日本ノ爲ニ盡サナケレバナラヌト云フヤウナ事情ニアリマスルガ、今ハ何ト申シマスルカ、物價其ノ他ノ關係待遇良クシナケレバナラヌ、何ニシテモ會社ノ業績ト力或ハ經營トカ云フヤウナコトニ何等ノ考ガナクシテ、サウシテ高イ賃金ヲ得レバ宜イト云フヤウニ今伺ヒツ、アルノデアリマス、私ハ現在ノ如ク國內ニ於テハ物價ノ公定ト云フヤウナコトデアリ、又外國ニ對シマシテモ計費貿易ト申シマセウカ、政府ガ買上ゲテ、政府ガ向フヘ送ツテ、サウシテ向フノ物資モ政府ガコチラヘ入レルト云フヤウナ事態デアリマスルナラバ、私ハ今日ノ狀態デモヤツテ行ケナイコトハナイト思ヒマス、併シナガラ御承知デアリマセウガ、新聞紙ナドヲ見テ居リマシテモ、多數ノ會社ガ殆ド缺損ノヤウナコトデアリマスルノデ、此ノ分デ參リマスルト云フト、今後或時期ニナリマシテ、所謂自由貿易ニナツテ、サウシテ、爲替ガドウ云フ程度ニ決マルカ知リマセ

ヌガ、恐ラク斯ウ云フヤウナ相剋摩擦ヲシテ居リマシテハ、我が國ノ再建ト云フモノハ私ハムツカシイト思フノデアリマス、寧ロ私共ハ企業者ト申シマセウカ、資本家ト申シマセウカ、ソレト從業者トガ一體ニナツテ、サウシテ仕事スルヤウニ、結局經營ノ管理ヲ共ニスルト云フヤウナコトニシテ參ツテ、サウシテ血ノ出ルヤウナコトニシテ行カナケレバ、私ハ日本ノ國ハ立ダナイト思ヒマス、假ニ一例ヲ申シマス、ト云フト、只今ハ前カラ「ストック」ノ廉イモノガアリマシタ爲ニ、ソレデ商賣ヲシテ居ルノデ、其ノ間ハ宜イノデアリマスガ、今後再ビ新シイ材料ヲ買ツテ仕事ヲシテ、サウシテ物ヲ賣ツテ行クト云フヤウナコトデハ、私ハ直グ會社等モ行詰ツテシマフモノダト思フノデアリマス、ソレハ詰リ言ツテ見ルト云フト、原價計算ガ非常ニ高クナツテ、到底割ニ合フト云フコトハ、現在ノ狀態デハムツカシイノデアリマスカラ、此ノ際ハ進ンデ企業者ト勞働者トガ一緒ニナツテ、サウシテ經營管理ヲスルコトノ方ガ寧ロ優ツテ居リハシナイカト思フノデアリマス、言ツテ見マスルト云フト、企業家ハ資本ヲ出スノダ、其ノ代リ其ノ資本ニ對シテハ相當ト申シマスカ、利子ト申シマスカ、何分カラ出スノダ、所謂基本配當ヲスルノダ、又勞働者ノ方モ基本ノ賃金ヲ決メテ、サウシテ御互ニ其ノ中カラ經營ヲスベキ、或ハ重役デアルトカ、部長長デアルトカ云フモノヲ選舉シテ出シテ、サウシテ其ノ會社ノ業績ガ優良ニナレバ賃金モ上ガルノダ、配當モ上ゲルノダ、若シ業績ガ悪クナレバ配當モ下ゲルコトニナルノダ、賃金モ下ルノダト云フコトニ、オ互ニ會社ノ經營

ノ成リ立ツヤウニスルコトノ方ガ、現在ノ狀態トシテハ、宜クハナイカト云フヤウニ私ハ思ツテ居ル、サウデナケレバ、此ノ終戦後ノコトデ云ヘバ喰ヒ潰スト云フコトデ……ソレハ或ハ現在ノ物價カラ見マスルト云フト、會社ナド、或ハ工場ナドモ、今ノ値段ニ決メレバ非常ニ高イモノデアリマスカラ、或何年カノ間ハ、ソレヲ高ク見積レバ喰ヒ潰ストハ出來マスクレドモ、併シナガラ現在ノ會社ノ持つテ居リマスル流動資金ナドヲ何時迄モ長ク持つテ居ル、持つテ居ルデハナイ喰ヒ潰セバ、ソレデ金繰リノ上ニ於テ結局行詰ツテシマレド思フノデアリマス、私モ斯ウ云フコトヲ申上ゲルベキカドウカ知リマセヌガ、寧ロ經營、生産管理ト云フコトヲ勞働者デアルコトハ、所謂何ト申シマセウカ、財產權トカ、經營權トカヲ侵スコトニナツテ、イケナイコトデアリマスカラ、經營權トカ財產權トカ云フモノヲ少クモ勞働者トオ互ニヤルヤウナコトニシテ行クトニ付テ、政府トシテハドウ云フ御考ヲ持つテ居リマスカ、私共寧ロ進ンデ經營ノ管理ヲ相互デスルノダト云フコトニシテ行クトガ、一番宜カラウト思フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、此ノ分デ參リマスレバ……無論勞働者諸君トシテモ會社ヲ喰ヒ潰ス意思デモナシ、會社ヲ破産倒産サセルト云フ意思デモアリマセヌガ、唯目先、生キムガ爲ニ高ク取ラナケレバナラヌト云フヤウナコトノ爲ニ、結局會社ノ經營ト云フモノガ出來ナイ、存立ガ出來ナクナルト云フコトニナリマスル爲ニ、私共ノ考デハ、寧ロ企業者モ進ンデ共同ノ經營ノ管理ヲスルコトニスルコトガ宜カラウ、又勞働者ノ方モ進ンデ矢張り其ノ會社ノ經營

ヲシテ、サウシテ其ノ總收入ヨリ總支出ヲ支拂ツテ、或ハ固定ノ償却トカ其ノ他ノコトデ當然總支出ニ入レルベキモノハ入レテ、アトハ資本家ト勞働者ト分ケ合フト云フコトニスルコトハ如何デアリマセウカ、斯ウ云フコトニ對シテ大臣ノ御意見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス。

○國務大臣(河合良成君) 只今ノ片倉委員カラノ御尋デアリマスルガ、是非モ「ムツカシイ問題」デアリマシテ、先程ノ生産管理ノコトヲ政府ガ否定スルト云フコトハ、是ハモノノ考ヘ方ト致シマシテ、申サバ平面的ニ解釋シテ居ル點デアリマス、ト云フハ、只今ノ矢張り社會ノ秩序ト云フモノハ、ドウシテモ是ハハツキリ決メマセスト、結局他人ノ承諾ナクシテ他人ノ分野ヘ手ヲ伸バスト云フコトニナツテ、是ハ今ノ社會ノ秩序ト云フモノハ保護テスノデアリマス、ソレデカテ生産管理ト云フモノハ、是ハ承諾ナクシテヤル以上ハイカズメデハ云フノハ、此ノ今ノ社會ノ平面的ニ見マシタ一ツノ秩序ノ設定デアリマシテ、是ハ治安ノ上カラ主トシテ來テ居ル問題デアリマス、是ハ是デ勿論ヤツテ行キマセヌガ、併シ此ノ將來ノモノノ見方ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ又別ニ自カラ考ヘテ行カナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ矢張り一ツノ將來ノ目標ハ、御話ノ如ク、此ノ資本ト勞力ト云フモノガ細コタヤウニナツテ斯ウ云フ風ニ進ンデ行クノハ、私ハ一ツノ目標ト思ツテ居リマス、思ツテ居ルガ、是ハ總テ矢張り大體此ノ社會ノ自然ノ行キ方ヲ土著トシマシテ、サウシテ矢張り合意ノ上ニヤルベキモノデ、今片ツカガ片ツカガ取

性、労働者ノ將來性ト云フモノヲ三ツ
眺メテ考ヘマスルト、御承知ノ通りノ
變化ガ起リツ、アルト云フコトハ否定
出來ヌ、恐ラク資本ハ大衆資本主義ト
云フヤウナ形ニ向ツテ前進スルカモ知
レナイ、サウ云フ風ニ色々玆ニ考ヘテ
來マシテ、其ノ間ヲ縫ツタ御質問ト私
ハ拜承シテ居リマスガ、斯ウ云フ問題
ニ付テハ、勿論勞資協調ト云フコトデ
行カケレバナラヌ、サウシテ、或ハ
労働者ト云フモノノ階級ヲ中産階級ニ
迄セリ上ゲルト云フコトガ多分ノ目標
ニナツテ來、大キナ資本家モ段々ト谷
ニ下ツテ來ルト云フヤウナ……併シ經營
者ト云フモノハ多分ニ存続シテ行クデ
セウト云フヤウナ形ニ於テ、大體ノ目
標ガアルノデハナイカト云フ風ニ私共
ハ考ヘテ居リマス、ソレデアアルカラ御
議論ニ對シテハ、大體ノ方向トシテ結
構ナコトデアルト思ヒマスガ、今日ノ
生産管理ヲ是認スル理由ニハ一ハモナ
ラナイガ、ソレハ別問題デ、今ノ狀態
ハ今ノ狀態、將來ノ方針ハ將來ノ方針
ト截然ト分ケテ考ヘナケレバナラヌト
云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、サウ
シテ今ノ御話ハ多分ニ「プロクイット」
シニアリ「グ」ノヤウナ意味ヲ持ツタ
言葉ト拜承致シマシテ、非常ニ結構ト
思ヒマスガ、唯現狀ニ於テハ、労働者
ニサウ云フ利益ノナイ場合ニ於テ、消
極的ナ「リスク」ヲ負ハサルト云フコト
ハ、狀態ニ依ツテ出來ルコトモ出來ヌ
コトモアルト思フ、ト申シマスノハ、
賃銀ニ依ツテ生活ヲ保障サレツ、行ク
狀態デアリマスカラ、其ノ「プロクイ
ット」ニ與カラナイ賃銀ニ生活ヲ維持
出來ヌト云フヤウナ狀態ニアリマスノ
デ、「プロクイット」ノナイ場合ニ於テ、
勞働者ガ生活出來ヌト云フ狀態ガ起キ

マスカラ、其ノ點ニ於テサハ慎重ナ考
慮ガ拂ハレバサウ云フ思想ハ非常ニ
結構ダト云フ風ニ私ハ考ヘマス、又或
ハ労働者ニ貯蓄ガ出來マシテ、サウシ
テサウ云フ利潤ノ配分ヲ受ケル場合ニ
依ツテモ、貯蓄ニ依ツテ生活ヲ維持出
來ルト云フ彈力ガアルヤウニ相當ノ餘
裕ガアリマスレバ、斯ウ云フ點ハ非常
ニ實效的デアアル、併シナガラ労働者ハ
決ツタ賃銀ニ依ツテ生活シテ居ツテ、
其ノ賃銀ヲ相當低位ニ置イテ不足ハ利
潤ヲ賭ツテ行クノデアアルト云フ、矢
張り「ストライキ」ト云フ危險ハ多分ニ
アルト考ヘテ居リマスガ、一々事實問
題ニ付テ斯ウ云フ問題ハ解決シ、又時
代ニ依ツテ進シテ行クベキモノデア
ルト考ヘテ居リマス
○片倉兼太郎君 只今ノ御話デ能ク現
在ノ社會情勢ノコトハ了承致シマシタ
ガ、實ハ労働者階級ナドヤリマシタ結
果ハ、後ガ社會ガ能ク立直ルト云フ例
ガ比較的少イノデアリマス、矢張り經
營者ト労働者ノ間ノ氣分ガマツクナツ
テ、朗カニナルコトガムツカシイ、私ハ
此ノ分デ參リマス、將來ハ知リマセ
ヌガ、恐ラク會社ノ存立ガムツカシク
ナルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル、又
會社ガムツカシクナツテ、結局投資
シタモノガ價值ガナクナルト云フコト
ニナレバ、將來投資ヲシ、又事業ヲ興
スト云フコトガ非常ニ少クナル、所謂
警戒ヲスルコトニナツテ來ルコトヲ恐
レルノデアリマス、此ノ際、今後ドウ
云フ狀態ニ行クカ知リマセヌガ、何等
カノ方法ニ依ツテサウ云フヤウナコト
ガ出來ルヤウナ方法ヲ今カラ一ツ御考
ヘ置キテ願ツテ戴キタイト思ヒマス、
ソレヲ附加ヘマシテ私ノ質問ヲ打切り
マス
○種田虎雄君 先程來厚生大臣ノ御説
明ノ中ニ、賃銀ノ最低ト最高ハ今ハ決
メナイノダ、斯ウ云フ御話ガアリマシ
タガ、是ハ多少經濟界ノ安定シタ後ニ
於テモサウ云フヤウナ御考デアラレマ
スカドウカ、只今官吏ノ如キハ、矢張
リ或程度ノ最低、最高ハ決メラレテ居
ル、ソレカラ又最低、最高ノ決メ方ニ付
テモ、色々ハ實質賃銀ヲ決メルカ、
形式賃銀ヲ決メルカ、斯ウ云フコトモ
大イニ考ヘナケレバナラヌ、大體今迄
ノ日本ノ賃銀制度ハ形式賃銀大體決
ツテ居ル、是ハ無論物價ガ安定シテ居
ル場合ハソレデモ宜イガ、今ノヤウナ
變動ノ甚シイ時、形式賃銀ヲ以テ色々
決メルト云フコトハ無理ナノデア
ル、結局實質的ナ賃銀ヲ決メテ、ソレ
ニ依ツテ物價ノ變動ニ件フ賃銀制度ガ
採ラレルベキデハナイカト云フ風ニ私
共ハ考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ
コトニ付テ政府ノ御方針ヲ承リタイ
○國務大臣(河合良成君) 賃銀ノ最低
最高ノ點デアリマスガ、矢張り先ニ採
上ゲテ決メルベキモノハ最低賃金ダト
思ヒマス、是ハ申ス迄モナク憲法ノ條
項ニ依ツテ、最低生活ノ保障ノ責任ガ政
府ニアルト云フ風ニナツテ居リマスノ
デ、ソレデ最低生活ノ保障ノ方法トシテ、
目下生活保護法ナリ、或ハ失業救済
ナリ、其ノ他ノ社會事業ナリ、色々ナ
方法ハ採ラレルニハ相違アリマセヌケ
レドモ、賃銀ノ最低ハ決メルコトニナ
ルト、大部分ノ者ハソレニ依ツテ保障
サレルト云フ形ニナルト思ヒマス、
是ハ最低生活ノ保障ト云フ線ニ沿ヒ
マシテ、將來ヤツテ行クベキデアルト
考ヘテ行カケレバナラヌト思ヒマス、
併シナガラ先程言ヒマシタヤウニ、
只今ノ物價ノ動搖、通貨、購買力ノ動

搖等、經濟ガ非常ニ急激ナ變化ニ遇ツ
テ居ル時ニハ、ナカ／＼ハ決メルコ
トハ困難デアルト云フ考ノ下ニ、只今
行ツテ居リマセヌ、或ハ之ヲ物價指數
ニ依ル賃銀制度トカ、或ハ「コロリー」
基準ニシテ賃銀制度トカヲ無理ニ考ヘ
スガ、實際上ハ困難デアアル、殊ニ今ノ賃
銀ハ實質賃銀ヲ決メナケレバ意義ヲ成
サヌカラ、サウ云フ點ニ於テ困難ガア
ルカラ、只今ハソレヲ「ヤル」意思ハナイ
ト申上ゲマス、勿論勞働基準法ナドニ
於テモサウ云フコトヲ想像シテ居ル規
定ニナツテ居リマシテ、地方長官ヲ必要
アル時ハ政府ノ認可ヲ得テ最低賃銀ヲ定
メルコトガ出來ルト云フ規定モ實ハ持
ヘテ、ソレヲ一般ノ輿論ヲ開イテ居ル
所デアリマス、此ノ規定ガ出來マズレ
バ、將來ノ安定性ニ件ツテ最低賃銀ト云
フ考ハ出テ來ル、詰リ政府モサウ云フ
コトニヤツテ行クダラウト云フ見通シ
デアリマス、ソレカラ最高賃銀ノ點ニ
至リマシテハ、是ハ只今ノ改正デ假ニ
最高賃銀ヲ採リマス、恐ラク勞働政
勢ト申シマスガ、勢カラ見マシテ恐ラク
最高賃銀ニ皆吸收サレシマフト云フ
ヤウナ現象ガ起リハセヌカト云フコトモ
考ヘテ居リマス、ソレカラ又經濟ガ安
定シマシタ場合ニ、最高賃銀ト云フモノ
ヲドウ定メルカ、定メル必要ガアルカ
ト云フコトニナツテ來マスルト、或意味
ノ必要モ、安定シレバナクナルノデ
ヤナイカト云フ意味モ出テ來マスノデ、
最高賃銀ト最低賃銀ト少シ思想ノ根
柢ヲ違ツテ居ルト考ヘテ居リマス、是
ハ寧ロ臨機應變ニ社會及ビ經濟情勢ニ
應ジテ、其ノ必要ガアルト認メタ時ニ
考ヘルト云フ意味ノモノデアツテ、最
低賃銀ハ基本的ニ定メナクチャナラヌ

ト云フ思想トハ少シ違ツタ考デアルト
云フ風ニ大體考ヘテ居リマス
○種田虎雄君 今日此ノ賃銀ニ對スル
色々ノ統制ニ關スル法令ガ出テ居リマ
スガ、法令ニ決メラレテ居ルコトハ恐
ラク最低賃銀ノ觀念ダラウト思ヒマ
ス、處ガ此ノ法令ガ今日尙存続シテ居
ルノデハナイカト思フノデス、之ニ對
シテ政府ハ之ヲドウ云フ風ニ御扱ヒニ
ナル御考デアリマスガ、實ハ斯ウ云フ問
題ニ付テ、ナカ／＼法令ヲ無視シテ各
事業者ガ今日ノ賃銀ヲ決メテ居ルダ
ラウと思フ、實ハ法令アツテ無キモノデア
リマス、ソレヲ其ノ儘ニ抛ツテアル勞
働委員會アタリデモ、色々ナ爭議ガア
ツタ時ニ、之ヲ解決スルノニ如何ナル
基準デ之ヲ解決スルカト云フコトハ實
ハ困ツテ居ル、何等ノ資料ナクシテ裁
定シナケレバ、ナラヌ、ムツカシイ問題
デシテ皆委員會ニ持ツテ來ル、而モソ
レニ對スル資料ト云フモノハ何モナイ
ト云フガ現狀デアナイカト思ヒマス、
斯ウ云フ問題ニ付キマシテ、矢張り中
央官廳トシテハ如何相當ノ研究ヲサレ
テ、資料ヲ地方ニモオヤリニナラナ
ク、實際問題ハ解決出來ナイト斯ウ
思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、
此ノ賃銀關係ノ統制ニ關スル法規、サ
ウ云フモノハドウナツテ居ルカ、ソレ
ニ附隨シマシテ殊ニ私が御尋ネシタ
コトニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(吉武憲市君) 只今種田サ
ンカラ御質問ガゴザイマシタヤウニ、
現在賃銀ニ關スル統制法令ハ殘ツテ居
リマス、是ハ總動員法ニ基クモノデゴ
ザイマシテ、實ハ九月デ廢止ニナルノ
デゴザイマス、從ヒマシテ政府ト致シ
マシテハ、是ハ非常ニ無理ガゴザイ
マスノデ強行シテ居リマセヌ、モウ其

ト云フ思想トハ少シ違ツタ考デアルト
云フ風ニ大體考ヘテ居リマス
○種田虎雄君 今日此ノ賃銀ニ對スル
色々ノ統制ニ關スル法令ガ出テ居リマ
スガ、法令ニ決メラレテ居ルコトハ恐
ラク最低賃銀ノ觀念ダラウト思ヒマ
ス、處ガ此ノ法令ガ今日尙存続シテ居
ルノデハナイカト思フノデス、之ニ對
シテ政府ハ之ヲドウ云フ風ニ御扱ヒニ
ナル御考デアリマスガ、實ハ斯ウ云フ問
題ニ付テ、ナカ／＼法令ヲ無視シテ各
事業者ガ今日ノ賃銀ヲ決メテ居ルダ
ラウと思フ、實ハ法令アツテ無キモノデア
リマス、ソレヲ其ノ儘ニ抛ツテアル勞
働委員會アタリデモ、色々ナ爭議ガア
ツタ時ニ、之ヲ解決スルノニ如何ナル
基準デ之ヲ解決スルカト云フコトハ實
ハ困ツテ居ル、何等ノ資料ナクシテ裁
定シナケレバ、ナラヌ、ムツカシイ問題
デシテ皆委員會ニ持ツテ來ル、而モソ
レニ對スル資料ト云フモノハ何モナイ
ト云フガ現狀デアナイカト思ヒマス、
斯ウ云フ問題ニ付キマシテ、矢張り中
央官廳トシテハ如何相當ノ研究ヲサレ
テ、資料ヲ地方ニモオヤリニナラナ
ク、實際問題ハ解決出來ナイト斯ウ
思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、
此ノ賃銀關係ノ統制ニ關スル法規、サ
ウ云フモノハドウナツテ居ルカ、ソレ
ニ附隨シマシテ殊ニ私が御尋ネシタ
コトニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(吉武憲市君) 只今種田サ
ンカラ御質問ガゴザイマシタヤウニ、
現在賃銀ニ關スル統制法令ハ殘ツテ居
リマス、是ハ總動員法ニ基クモノデゴ
ザイマシテ、實ハ九月デ廢止ニナルノ
デゴザイマス、從ヒマシテ政府ト致シ
マシテハ、是ハ非常ニ無理ガゴザイ
マスノデ強行シテ居リマセヌ、モウ其

月で廢止ニナルモノデスカラ、九月以後ハ之ヲ實施スル意思ハ、ガイマセマ、ソレカラ只今ノヤウニ爭議其ノ他ガ起ツタ時ニ、實銀其ノ他ニ付テ據リ所ガナクテ困ツテ居ルト云フ御事情ハ私共十分了承シテ居リマス、從ヒマシテ之ヲドウ云フ風ニスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、法規ヲ以テ統制スルコトハ、只今厚生大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ、色々弊害ガゴザイマスノ宜シクナイ、從ヒマシテ政府ト致シマシテハ出來ルダケ現狀ノ實銀ト云フモノ、或ハ生活費ト云フモノノ正確ナ統計ヲ調ベマシテ、之ヲ世間ニ發表シ、之ニ基テ公正ナル實銀ノ決定ガナサレハコトヲ望ンデ居ル譯デゴザイマシテ、終戦後モ我々トシテハ出來ルダケ實銀統計ノ正確ナルモノヲ取ルベク努力シ毎月發表シテ居ルノデアリマスガ、御話ノヤウニマダ、不完全ナモノデゴザイマスシ、又其ノ普及モ餘リ徹底シテ居リマセヌデ、地方廳ノ方ニハ之ヲ配付致シマスルシ、或ハ新聞等ニモ發表致シマスシ、又主要工場デ照會ガゴザイマスレバ勿論回答モシテ居リマスガ、今後此ノ點ハ一段ト力ヲ入レマシテ、所謂公正ナル實銀統計ヲ作成シテ、ソレヲ標準トスルヤウニ指導シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス

質問ノ時ニ、大蔵大臣ハ、無論資本主義其ノ弊害ダケヲ是正シテ行ク政策ヲ執ツテ行クノド、斯ウ云フ御話デアリマシタヤウニ、此ノ實銀ノ決メ方ニ付キマシテハ、此ノ點ガ相當ニ考ヘラレナケレバナラヌ點アラウと思フノデアリマス、只今政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ、現在ノ實際ノ實銀其ノモノヲ基準トシテ、相當ニ之ヲラマク其ノ地方々々ニ於テ決メテ行ク、ソレニ對シテ色々資料ヲ是カラ集メテ行ク、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、大體各政黨殊ニ社會黨等ノ方面ノ連中ノ言ハレテ居ルコト、又實際組合方面デ實銀ノ問題ニ付テ、ドウ云フ風ナ考ヲ以テ一體政府ニ向ツテ要求シテ居ラレマスカ、サウ云フヤウコトニ付テ若シ御差支ナケレバ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(吉武惠市君) 只今ノ御話ノ中、組合ガドウ云フ風ナ實銀ヲ要求シテ居ルカト云フ御話デゴザイマスルガ、大體組合等デハ生活權ノ保障ト云フコトヲ主眼ニシテ居リマスノデ食ヘル實銀ヲ具レト云フコトヲ言ツテ居リマス、從ツテ生活實銀ガ基本ニナツテ居ル譯デアリマス、一方經營ヤリマスル上ニ於キマシテハ、生活ノ保障ト云フコトガ最も基本デアリマスケレドモ、矢張り生産能率下云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌカラ、勢ヒ能率賃銀ヲ主張サレト思フノデアリマス、從ツテ今後ノ實銀ガ能率賃銀デ行クベキカ、或ハ生活實銀デ行クベキカト云フ所ガ岐レ目ニナツテ來ルカト思フノデアリマス、マア私共ト致シマシテハ、實銀ハ生活費ノ保障スルコトデアリマスルカ、食ヘナイ實銀デアリコトハ望マナイデアリマスケレドモ、生活實銀ダケニ依リマス、ウント働者モ働カナイ者モ餘リ差ガナイト云フコトニナリマシテ、生産能率ヲ擧ゲナイコトニナリマスカラ、矢張り生活實銀ヲ基本ニシナケレバナラヌケレドモ、其ノ上ニ立テラレハ實銀ハ能率ヲ加味シナケレバナラヌデヤナイカ、ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、現在石炭山等ニ於キマス實銀ガ、今春以來ノ爭議等ニ依ツテ獲得サレマシタ實銀ガ、ドトラカト云フト生活權ヲ基トシタ定額實銀ノ方ガ主要ニナツテ居リマス爲ニ、能率ノ方ヲ主眼トシタ實銀ノ要素ト云フモノガ少イ、從ツテウツト働者モ働カナイ者モ餘リ差ガナイトカラ、働カナイヤウニナルト云フ譯ガ大分出テ參ツテ居リマス、是ハ組合ノ方デモ最近ノ狀況デハ、餘リニ生活實銀デアツテハナラナイ、矢張り能率モ加味シナケレバナラヌデヤナカラウカト云フ譯モ一部ニハ出テ居ルヤウナ譯デゴザイマス、今後ハ矢張り此ノ兩方面ヲ組合セテ行クベキデヤナカラウカト存ジテ居リマス

○種田虎雄君 生産意欲ノ昂揚ヲ圖リ、能率ヲ増進セシムルコト云フコトハ、是ハ當然考ヘナケレバナラヌ點デアリマスルガ、政府トシテハ其ノ面ニ於テ労働者ノ勤勞ニ對シテレダケノ報奨ヲシヨウ、或ハ報酬ヲ出サウ、所謂報奨制ト云フカ、サウ云フヤウナコトニ付テ何カ御計算ガアリマセウカ、又他ノ國デモ御承知ノ通り、相當ニ努力シ、相當ニ働イテ居ル者ニ對シテ國家的ニ之ヲ表彰スルコト云フヤウナコトモ國分アルヤウニ聞イテ居リマス、我ガ國ニ於テハサウ云フ點ニ付テ、殊ニ今ノ生産意欲ノ低下シテ居ル際、能率ノ下ツテ居ル際、單ニ生活實銀或ハ能率賃銀ト云フデケデナク、國家トシテ事業ノ上ニ立ツテ相當ノ何カサウ云フ御計算ガアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(河合良成君) 戰時中ニハ色々方法ヲ執ツテ居ツタヤウデアリマスガ、御承知ノ通りニ總テサウ云フコトガ一旦御破算ニオツタヤウナ形デアリマスカラ、其ノ長イ間ノ混亂時代ガ段々濁ツタ水ガ沈澱シテ行クヤウナ丁度時代ダと思ヒマス、積極的ニ斯ウ云フ問題ニ付テモ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、例ヘバ「ロシア」「スタバノフ」ノ實銀ノ報奨ナドモ非常ニ能率ヲ擧ゲテ居リマス、主トシテ石炭ノ問題ニシマシテモ、其ノ他ノ問題ニシテモ、其ノ問題ハ所管ハ商工省ノ分野トナツテ居リマスカラ、私カラ具體的ニドウ云フ風ニ計畫シテ居ルカト云フコトヲ申上ゲル迄ニナツテ居リマセヌ

○種田虎雄君 私人御尋ネシタノハ、御役所ノ所管ガ或ハ違フカモ知レマセヌガ、要スルニ働者ニ對シテモ、國家的ニ表彰スルコト云フヤウナコトニ付テ、政府トシテドウ云フヤウニ、實ハ最近、今厚生大臣ノ御話ノヤウニ殆ド國民ニ對シテ表彰ト云フヤウナコトガナイ、是ハ農民ニ對シテモ、労働者ニ對シテモ、又一般ノ勤勞階級、官吏其ノ他ノ者ニ對シテモ、相當努力シテ働ク者ニ對シテ、斯ウ云フ時ニこそ國ハ大ニ表彰シナケレバナラヌト考ヘリマシタデアリマス、ソレデ實ハ御尋ナシタ譯デアリマス、是ハ一名ノ問題デナイ、結局厚生大臣アタリガ一番考

ニナルノニ良イ立場デアリカト思ツテ御尋ネシタデアリマス

○國務大臣(河合良成君) 出來ルダケ御意欲ノ線ニ沿ウテ行キタイト云フ考デアリマスガ、大體何ト申シマスカ、サウ云フ問題ニ付キマシテ、總テ民主的立場ニ一ツ翻譯シテ考ヘナケレバナラヌヤウニナツテ居リマスカラ、ドウ云フ方法ヲ執ツテ宜イカ、此ノ間カラ生産意欲ノ昂揚問題ニ付テ具體的ニ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ譯ガ多イデアリマス、國內ニ於テモサウ云フ議論ガナカ、出テ居リマス、唯方法ニ付テ何カ考ヘテ行カナケレバイカヌ、前ノヤウナ風デヤツテハ何カ全體主義的ノ匂ガ殘ツタヤウニナリマシテ、ドウ云フヤウニ變ヘルト云フコトニ付テハツキリシタ考ガ立チマセヌ、出來ルダケ早く御意旨ニ副フヤウナ施設ヲ施スベキモノダト云フコトニ付テハ、誠ニ御同感ヲ感ズル次第デアリマス

○吉田久君 私人本案ガ近時ニ於ケル労働運動ノ要點アル、労働爭議ヲ、有權的ニ解決スルノニ必要ナモノトシテ、其ノ支持ヲ情マナイモノデアリマス、世間ノ一部デハ本案ハ労働爭議ヲ去勢スルモノデアルト云ウテ非難シテ居ル向キモアリマスルガ、私ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、尤モ爭議ヲ有權的ニ解決スルコト云フコトト自主的ニ解決スルコトトノ間ニハ、微妙ナ關係ガアルと思フデアリマスルガ、苟モ爭議ノ解決ト云フ以上ハ、自主的ニ致シマシテモ、其ノ自主的ノ要素ヲ採入レテ有權的ニ解決サレナケレバ左様ナイトカラ致シマシテ、労働爭議ヲ解決スル方法ニ關シテ、本案ニ付テノ一、二ノ

○種田虎雄君 議會デモ本會議デ實ハ下條議員カラ既ニ質問サレタ問題ハ、例ノ一體日本ノ經濟界ハ何方ヘ持つテ行クノカ、詰リ資本主義デ行クカ、社會主義デ行クカ、資本主義ヲ以テスルナラバ資本主義ノ惡イ所ヲ是正シテ行クカ、社會政策的ノ改善ヲ加ヘテ行クカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレノド、政府ハドウ云フ風ニ考ヘラカト云フヤウナ

質問ノ時ニ、大蔵大臣ハ、無論資本主義其ノ弊害ダケヲ是正シテ行ク政策ヲ執ツテ行クノド、斯ウ云フ御話デアリマシタヤウニ、此ノ實銀ノ決メ方ニ付キマシテハ、此ノ點ガ相當ニ考ヘラレナケレバナラヌ點アラウと思フノデアリマス、只今政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ、現在ノ實際ノ實銀其ノモノヲ基準トシテ、相當ニ之ヲラマク其ノ地方々々ニ於テ決メテ行ク、ソレニ對シテ色々資料ヲ是カラ集メテ行ク、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、大體各政黨殊ニ社會黨等ノ方面ノ連中ノ言ハレテ居ルコト、又實際組合方面デ實銀ノ問題ニ付テ、ドウ云フ風ナ考ヲ以テ一體政府ニ向ツテ要求シテ居ラレマスカ、サウ云フヤウコトニ付テ若シ御差支ナケレバ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(吉武惠市君) 只今ノ御話ノ中、組合ガドウ云フ風ナ實銀ヲ要求シテ居ルカト云フ御話デゴザイマスルガ、大體組合等デハ生活權ノ保障ト云フコトヲ主眼ニシテ居リマスノデ食ヘル實銀ヲ具レト云フコトヲ言ツテ居リマス、從ツテ生活實銀ガ基本ニナツテ居ル譯デアリマス、一方經營ヤリマスル上ニ於キマシテハ、生活ノ保障ト云フコトガ最も基本デアリマスケレドモ、矢張り生産能率下云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌカラ、勢ヒ能率賃銀ヲ主張サレト思フノデアリマス、從ツテ今後ノ實銀ガ能率賃銀デ行クベキカ、或ハ生活實銀デ行クベキカト云フ所ガ岐レ目ニナツテ來ルカト思フノデアリマス、マア私共ト致シマシテハ、實銀ハ生活費ノ保障スルコトデアリマスルカ、食ヘナイ實銀デアリコトハ望マナイデアリマスケレドモ、生活實銀ダケニ依リマス、ウント働者モ働カナイ者モ餘リ差ガナイト云フコトニナリマシテ、生産能率ヲ擧ゲナイコトニナリマスカラ、矢張り生活實銀ヲ基本ニシナケレバナラヌケレドモ、其ノ上ニ立テラレハ實銀ハ能率ヲ加味シナケレバナラヌデヤナイカ、ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、現在石炭山等ニ於キマス實銀ガ、今春以來ノ爭議等ニ依ツテ獲得サレマシタ實銀ガ、ドトラカト云フト生活權ヲ基トシタ定額實銀ノ方ガ主要ニナツテ居リマス爲ニ、能率ノ方ヲ主眼トシタ實銀ノ要素ト云フモノガ少イ、從ツテウツト働者モ働カナイ者モ餘リ差ガナイトカラ、働カナイヤウニナルト云フ譯ガ大分出テ參ツテ居リマス、是ハ組合ノ方デモ最近ノ狀況デハ、餘リニ生活實銀デアツテハナラナイ、矢張り能率モ加味シナケレバナラヌデヤナカラウカト云フ譯モ一部ニハ出テ居ルヤウナ譯デゴザイマス、今後ハ矢張り此ノ兩方面ヲ組合セテ行クベキデヤナカラウカト存ジテ居リマス

○種田虎雄君 生産意欲ノ昂揚ヲ圖リ、能率ヲ増進セシムルコト云フコトハ、是ハ當然考ヘナケレバナラヌ點デアリマスルガ、政府トシテハ其ノ面ニ於テ労働者ノ勤勞ニ對シテレダケノ報奨ヲシヨウ、或ハ報酬ヲ出サウ、所謂報奨制ト云フカ、サウ云フヤウナコトニ付テ何カ御計算ガアリマセウカ、又他ノ國デモ御承知ノ通り、相當ニ努力シ、相當ニ働イテ居ル者ニ對シテ國家的ニ之ヲ表彰スルコト云フヤウナコトモ國分アルヤウニ聞イテ居リマス、我ガ國ニ於テハサウ云フ點ニ付テ、殊ニ今ノ生産意欲ノ低下シテ居ル際、能率ノ下ツテ居ル際、單ニ生活實銀或ハ能率賃銀ト云フデケデナク、國家トシテ事業ノ上ニ立ツテ相當ノ何カサウ云フ御計算ガアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(河合良成君) 戰時中ニハ色々方法ヲ執ツテ居ツタヤウデアリマスガ、御承知ノ通りニ總テサウ云フコトガ一旦御破算ニオツタヤウナ形デアリマスカラ、其ノ長イ間ノ混亂時代ガ段々濁ツタ水ガ沈澱シテ行クヤウナ丁度時代ダと思ヒマス、積極的ニ斯ウ云フ問題ニ付テモ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、例ヘバ「ロシア」「スタバノフ」ノ實銀ノ報奨ナドモ非常ニ能率ヲ擧ゲテ居リマス、主トシテ石炭ノ問題ニシマシテモ、其ノ他ノ問題ニシテモ、其ノ問題ハ所管ハ商工省ノ分野トナツテ居リマスカラ、私カラ具體的ニドウ云フ風ニ計畫シテ居ルカト云フコトヲ申上ゲル迄ニナツテ居リマセヌ

○種田虎雄君 私人御尋ネシタノハ、御役所ノ所管ガ或ハ違フカモ知レマセヌガ、要スルニ働者ニ對シテモ、國家的ニ表彰スルコト云フヤウナコトニ付テ、政府トシテドウ云フヤウニ、實ハ最近、今厚生大臣ノ御話ノヤウニ殆ド國民ニ對シテ表彰ト云フヤウナコトガナイ、是ハ農民ニ對シテモ、労働者ニ對シテモ、又一般ノ勤勞階級、官吏其ノ他ノ者ニ對シテモ、相當努力シテ働ク者ニ對シテ、斯ウ云フ時ニこそ國ハ大ニ表彰シナケレバナラヌト考ヘリマシタデアリマス、ソレデ實ハ御尋ナシタ譯デアリマス、是ハ一名ノ問題デナイ、結局厚生大臣アタリガ一番考

ニナルノニ良イ立場デアリカト思ツテ御尋ネシタデアリマス

○國務大臣(河合良成君) 出來ルダケ御意欲ノ線ニ沿ウテ行キタイト云フ考デアリマスガ、大體何ト申シマスカ、サウ云フ問題ニ付キマシテ、總テ民主的立場ニ一ツ翻譯シテ考ヘナケレバナラヌヤウニナツテ居リマスカラ、ドウ云フ方法ヲ執ツテ宜イカ、此ノ間カラ生産意欲ノ昂揚問題ニ付テ具體的ニ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ譯ガ多イデアリマス、國內ニ於テモサウ云フ議論ガナカ、出テ居リマス、唯方法ニ付テ何カ考ヘテ行カナケレバイカヌ、前ノヤウナ風デヤツテハ何カ全體主義的ノ匂ガ殘ツタヤウニナリマシテ、ドウ云フヤウニ變ヘルト云フコトニ付テハツキリシタ考ガ立チマセヌ、出來ルダケ早く御意旨ニ副フヤウナ施設ヲ施スベキモノダト云フコトニ付テハ、誠ニ御同感ヲ感ズル次第デアリマス

○吉田久君 私人本案ガ近時ニ於ケル労働運動ノ要點アル、労働爭議ヲ、有權的ニ解決スルノニ必要ナモノトシテ、其ノ支持ヲ情マナイモノデアリマス、世間ノ一部デハ本案ハ労働爭議ヲ去勢スルモノデアルト云ウテ非難シテ居ル向キモアリマスルガ、私ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、尤モ爭議ヲ有權的ニ解決スルコト云フコトト自主的ニ解決スルコトトノ間ニハ、微妙ナ關係ガアルと思フデアリマスルガ、苟モ爭議ノ解決ト云フ以上ハ、自主的ニ致シマシテモ、其ノ自主的ノ要素ヲ採入レテ有權的ニ解決サレナケレバ左様ナイトカラ致シマシテ、労働爭議ヲ解決スル方法ニ關シテ、本案ニ付テノ一、二ノ

愚見ヲ披露致シマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、第一ノ點ハ民事事件ノ調停及ビ仲裁ト、本案爭議ノ調停及ビ仲裁トノ關係デアリマス、仲裁ハ姑ク措キマシテ調停ニ付テ申上ゲマスレバ、民事事件ノ調停ハ、一般ノ民事事件ハ固ヨリ、小作事件ノ調停ニ致シマシテモ、商事事件ノ調停ニ致シマシテモ、皆裁判所ノ所管ニナツテ居ルノデアリマス、ソレハ右ニ傾カズ左ニ偏シナイ嚴正ナル批判者ノ立場ニアル裁判所ヲシテ之ニ當ラシムルコトガ、爭議ヲ最モ公正ニ解決スルノニ相應シト見タ爲デアリマス、然ルニ本案ハ、爭議ノ調停ハ裁判所ヲ離レテ労働委員會ノ分派アル處ノ調停委員會ノ決議ニ委セタノデアリマス、尤モ此ノコトハ労働組合法第二十七條ニ違因スルノデアリマシテ、同條ハ労働爭議ノ調停及ビ仲裁ヲ労働委員會ノ所管管掌事務ト定メテ居リマスル處カラ、本案ハ其ノ調停及ビ仲裁ヲ労働委員會ノ分派アル處ノ調停委員會ヲ行ハシメルコトニシタノデアリマシテ、本案ハ突如トシテ之ヲ定メタノデアリコトハ言フ迄モアリマセヌ、ケレドモ本案ニ依リマシテ調停委員會ノ組織ヲ引イテ見マスルト、同會ハ同ジ數ノ使用者ヲ代表スル委員、ソレカラ同ジ數ノ労働者ヲ代表スル委員ト、第三者デアアル處ノ委員ヲ以テ組織スルコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ委員ノ數ハ本案ノ規定ニハ直接ニ之ヲ制限シテ居ルモノハナイヤウデアリマスルガ、委員ハ原則ト致シマシテ、労働委員會ノ委員ノ中カラ労働委員會ノ會長ガ之ヲ指名スルコトニナツテ居ルノデアリマス、詰リ本案ノ狙ヒドコハ、使用者ヲ代表スル委員ト労働者ヲ代表スル委員

員ニ第三者デアアル處ノ委員ヲ配合致シマシテ、決議ノ公正ヲ期シタモノト思ハル、ノデアリマスルガ、結局第三者ノ委員ガ「キヤスチング・システム」ヲ握ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ意向ニ依ツテ決議ガ成立スルコトニナルコトハ間違ヒナカラウト思フ、サウ致シマスルト、資本家側及ビ労働者側ハ何レモ第三者ノ委員ノ抱込ミ誘導ニ有ラユル手段ヲ弄スルニ相違ナイト思フノデアリマス、ソレト同時ニ更ニ第三者ノ委員ノ資格ニ付テ争ヒガ起ル、所謂第三者委員ハ資本家側ニモ屬シナイ者又労働者側ニモ屬シナイ第三者デアリマスルガ、ソレガ實際的ニハドウカ、随分微妙ナ關係ニアリマシテ、争ヒガ起リ得ルト思フノデアリマス、處ガ其ノ争ヒヲ決メルト云フコトハナカナカ厄介デアリマシテ、場合ニ依リマスト、折角成立シタ委員會ガ根本的ニ覆ヘルコトニナラナイトモ限ラナイノデアリマス、ソレカラ又第三者ノ委員ノ抱込ミ及ビ誘導ガ放ツテシマスレバ、委員會ノ決議ノ公正及ビ適正ハ期待サレ得ナイノデアリマシテ、當事者ハ其ノ決議ニ心服シナイコトハ固ヨリデアリマス、私ハ此ノ點ニ付テ多大ノ疑念ヲ有スル者デアリマシテ、調停モ仲裁モ矢張り外部ノ勢力ニ動かサレハイハズ正シイ裁判所ニ所屬セシムルノガ宜イノデアリナカト考ヘテ居ル、私ハ裁判所ハ外部カラ動かサレナイ強イ正シイ存在デアアルト信ジテ居リマス、又世間デハ左様ニ見テ居ルト思フノデアリマス、ソユデ裁判所トシテハ労働爭議部ト云フヤウナ一ツノ部ヲ設ケマシテ、堪能ナ判事ヲ以テソレニ當ラセ

ル、而シテ判事ノ下ニハ本案ノ如キ調停委員會ヲ附置シ、其ノ意見ヲ聽イテ調停ニ當ルコトニシタラ宜カラウト考ヘル、衆議院デモサウ云ツタヤウナ考ガアルト見エマシテ、本會議ニ於テ労働裁判所ヲ設置スル考ガアルカドウカト云フコトヲ問ウテ居ルガアルアリマス、之ニ對シテ木村法相ハ設置ノ意思ナシト答辯サレテ居リマス、私モ労働裁判所ト云フヤウナ特別ナ裁判所ヲ設置スル必要ハナイト思フノデアリマス、今述ベタヤウナ仕組ノ部ヲ拵ヘテ調停ニ當ラシメルト云フコトガ相當デアラウト思ウテ居ルノデアリマス、而シテ調停ノコトデアリマスカラ、一種ノ和解デアリマス、當事者ノ這義心ニ撥ヘ、雙方ノ讓歩ノ下ニ了解ガ成セラレルノデアリマスガ、何處迄モ當事者ノ合意ヲ必要トスル、ソユデ合意ガ出来ナケレバ調停ハ不成立トナル譯デアリマス、併シ不成立ノ儘デオ終ヒマシタツテハ爭議ハ幾ツテ、解決サレマセヌ、デスカラ、其ノ場合ニハ調停ニ代ル裁判ガ出來ルヤウニシタラ宜カラウト思フ、即チ調停ニ其ノ意味ヲ有權性ヲ持タセルモノデアリマス、民事ノ調停デハ調停ニ代ル裁判ト云フモノガ認めラレテ居リマスガ、本案デハソレヲ認メテ居リマセヌ、是ハ當然ナトデアリマシテ、裁判機關デアリコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、併シ此ノ點モ本案ノ仕組ノ弱點デハナイカト私ハ考ヘテ居ル、本案デハ調停ガ不成立ニ終リマス、爭議ノ解決ハ仲裁ニ俟タケレバナラヌコトニナルノデアリマスルガ、仲裁ハ調停ト異ナリマシテ、第三者ノ判斷ノ内容トスルモノデアリマスルカラ、當事者ノ合意カラ若シタハ其ノ協約ヲ必要トスルノデアリマス、本案三十四條モ之ヲ明カニ致

シテ居リマス、故ニ合意若シタハ協約ガナイ時ニハ、仲裁ハ行ハレナイ、從ツテ爭議ハ依然解決サレナイコトニ相成ルノデアリマス、斯様ニ觀ジ來リマス、本案ノ調停委員會制度ハ爭議ノ解決ニハ相應シクナイモノデアアル、好マシクナイモノデアアルト言ヘルト思フ、又其ノ構成ニ關シテモ、爭議ノ解決ニハ遺憾ガアルト云フ疑念ヲ私ハ有スル者デアリマス、私ハ爭議ノ解決ハ矢張り裁判所ニ委セテヤルノガ宜イノデアリコト考ヘテ居リマスルガ、當局ノ御所見ハ如何デアリマセウカ、要スルニ私ノ伺ヒタイノハ、労働組合法ノ制定ニ際シ、又本案ノ立案ニ際シマシテ、從來ノ系統ヲ破ツテ、爭議ノ解決ヲ労働委員會ガ調停委員會ニ委セ、裁判所ヲシテ之ニ關與セシメナカシタノハ、如何ナル理由ニ依ルモノデアリカト云フコトヲ、先ツ伺ヒタイノデアリマス、第二ニハ、調停委員會ノ決議ニ對シテ不服ノ申立ガ許サレルカドウカト云フ點デアリマス、本案二十六條ハ、調停委員會ハ調停案ヲ作成シテ之ヲ關係當事者ニ示スコトニ致シテ居リマス、而シテ其ノ調停案ノ作成ハ委員會ノ決議ニ依ルモノナト思ハレルノデアリマスガ、其ノ決議ニ對シテ當事者ノ不服ノ申立ガ許サレルカドウカデアリマス、例ヘバ委員會ハ構成ガ違法アル、或ハ決議ノ方法ガ不法デアルトカ、云フヤウナ理由デ、不服ノ申立ガ許サレルカドウカカドウカト云フコトデアリマス、更ニ又労働委員會ノ仲裁ノ決議ニ對シテ、同様ニ不服ノ申立ガ許サレルカドウカ、殊ニ其ノ決議ノ内容ガ適切ナイト云フ場合ニ於テ然リデアリマス、労働委員會ノ仲裁ノ

決議ハ、本案ノ三十四條ニ依リマシテ、仲裁ノ裁定ハ労働協約ト同一ノ效力ヲ持タセルコトニ相成ツテ居リマス、其ノ意味ニ於テ仲裁ノ裁定ト云フモノハ有權性ナモノデアアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、左様ナ有權的大労働委員會ノ違法ナル決議ニ對シテ、當事者ハ不服ノ申立ガ出來ナイモノデアアルカト云フコト又伺ヒタイノデアリマス、尙之ヲ附加ヘテ申述ベテ置キタイノハ、現ニ民事ノ調停、殊ニ調停ニ代ル裁判ニ付キマシテハ、不服ノ申立ガ許サレテ居ルト云フコトヲ附買致シテ置キマス、先ヅ私ハ以上ノ二點ニ付テ政府當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(河合良成君) 只今御尋ノ第一ノ點デアリマスルガ、結局此ノ労働問題ノ爭議ノ場合ニ、ソレヲ裁判ニ依ツテ決メキリ決メテシマフト云フ所マデ何故行カナイノカ、其ノ理由ハ何處ニアルカト云フ第一ノ御尋ニ拜承致シマシタガ、是ハ今迄ノ私共ノ法律的ノ頭デハ、矢張り白カ黒カ、或ハ之ヲ何デ目盛ニスルシタト云フコトヲ決メタイ氣持ヲ、矢張り一應ハ私共ノ頭ニ持ツノデアリマスガ、併シ此ノ問題ト云フモノハ主トシテ法律問題デアリシテ事實問題デアアル、勿論其ノ中ニ法律問題モ編込デ來マセウカラ、其ノ事實ト云フコトモ亦ソレヲ法律化スレバ法律問題ニナリマセウケレドモ、何ト申シマスカ、ドウシテモ法律的ニモ事實的ニモ其ノ基本ハ結局労働者側ノ生活權ト云フ點ニ基礎ヲ置イタルルヤウデアリマス、ソレガ結局生活權ノ爲ニハ各個人ハ徹底ノ權利ヲ持

デアリマシテ、是ガ假ニ裁判ヲ決マリマシタ結果、其ノ條件如何ニ依ツテハ、矢張り生活ガ出来ナイト云フヤウナ條件ニデモナリマス。ソレデモ満足スルニハ行カナイト云フ意味ガ、多分此ノ勞働問題ニハアルノドト私ハ考ヘテ居リマス。ト言ツテソレデハウツチヤツテ置ケバドウナルト云フコトニナル。ウツチヤツテ置ケバ却ツテソレガ勞働者ノ不幸ヲ招クデヤナカト云フ場合モアリ得ルデセウ、アリ得ルケレドモ、是ハ結局人間ノ生存權ト云フコトガ基礎ニナツテ居リマス。カラ、茲ニ法律ノ力デ之ヲキツト決メテシマツテ答ヲ出スコトハ妥當デナイト云フコトガ、大體ノ法ノ建前ニナツテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス。併シナガラ勞働裁判ト云フコトモ勿論考ヘラレルコトデアリマシテ、サウ云フヤウナ社會狀態ニナリマシテ、サウシテ勞働裁判ヲシテモ差支ヘナイ、又裁判官モ慣レ、社會モ勞働問題ニ對スル認識ガ出来マシテ、サウシテソレデ決メテモ、勞働者即チ生存權、生活權ト云フモノガ脅威ヲ感ジナイト云フヤウナ事態ニナリマス。ソレハ勞働裁判ト云フモノニ依ツテモ宜イデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス。少クとも今ノ日本ノ事態ニ於テハ、民主國ニ變リ、民主主義ト云フモノガ大體ニ於テサウ云フ意味ニナルト云フ前提ノ下ニ、其所迄徹底ノコトヲ規定シテナイ、事實上ノ解決ニ任セルト云フコトニナリマス。併シソレハ全體ノ國家ノ公安ニ關シマスル場合ニハ、ソレハ又特別ナ事態モ發生スルコトモアリマセウ、現ニ此ノ調整法ノ如キモ、國家ノ公益擁護ノ目的デ其ノ點、制限又禁止ノ規定ニナツテ居ルヤウナコトデ

アリマシテ、米國アタリデチヨット前ニモ色々「ストライキ」三付、公安上色々ナ問題ガ起キタト云フ前例モアルノデアリマス。サウ云フ公安ニ關スルヤウナ重大ナコトニナル場合ニハ又別ノコトヲ考ヘナケレバナラヌト思ハレマス。ケレドモ、一般ノ爭議ニ對シテハ資本家ト勞働者ト間ノ協議ノ解決ニ任セラル、ソレニ對シテ出來ルダケソレヲ調停スル方法ヲ執ル、兩方ガ承知ノ場合ニハ法律ノ拘束力ヲ持ツ仲裁ヲヤルト云フコトガ大體ノ建前デアリ、今ノ階段ニ於ケル民主主義國家ヘノ轉機ニ於キマシテ、ソレガ適當ナリト云フヤウナ趣旨ニ於テ、徹底的ニ裁判ヲ白黒ヲ決メルト云フ所進行カナイト云フ制度ヲ執ツテ居ルノドト云フ風ニ解釋ヲ致ス次第デアリマス。

○吉田久君 只今ノ大臣ノ御答辭ハ、私ノ申上ダ趣旨ガ聊カ徹底シテ居ラナイヤウニ考ヘマス。其ノ點ニ付テ補足致シテ置キマス。仲裁ト云フコトニナリマス。是ハ裁判デアリマセウ、併シナガラ調停ハ何處迄モ當事者ノ合意ヲ基礎トスルノデアリマシテ、裁判所ガ其ノ側ニ當リマシテモ、黒カ白カラ決メルノデヤナイ、何處迄モ調停ガ出來上ルヤウニ斡旋スル役目ヲスルノデアリマス。併シナガラ當事者ガドウシテモ此ノ裁判所ノ鑑定ニ於テ、合議ノ鑑定ニ於テモ調停ニ從ハナイ、而シテ調停ニ代ル或モノヲ決メナケレバナラヌト云フヤウナ時ニハ、其處ニ調停ニ代ル裁判ト云フモノガ助クノデアリマス。調停ノコトニ裁判所ヲ當ラセルト致シマシテモ、裁判デ白カ黒カラ決メルト云フノデハナイノデアリマス。此ノ點ハ一ツ御注意

ヲ願ヒタイノデアリマス。ソレカラ只今大臣ノ御説明ニ依リマス。調停ガ出來ナイ時ニハ、仲裁モ無論出來ナイ、調停ガ出來ナイ時ニハ、自然ノ鑑定ニ放任シテ置ク、ソレデ解決ヲ圖ルト云フノデアリマス。ガ、一旦資本家側ト勞働者側ト爭議ガ發生致シマシテ、ソレガ片ガ附カナイノデ其ノ鑑定ニ放任サレルト云フコトニナリマシテハ、是ハ生産増強、若シハ能率ノ向上ト云フコトニ私ハ非常ニ關係ヲ持ツト思フ。デアリマス。是ハドウシテモ矢張り此ノ調停ガ出來ナイ時ニハ、有權的ニソレヲ解決スルト云フ方法ガ私ハ必要ナルト存ジテ居ルノデアリマス。仲裁ノ場合ニハ、是ハ當事者ノ合意若クハ協約ガナケレバ仲裁ノ出來マセウ、又仲裁ト云フコトニナリマス。其ノ實質ハ裁判デアリマス。勞働委員會ニナリマシテモ、裁判所ニナリマシテモ、其ノ實質ハ矢張り裁定ト云フコトデ決マルノデアリマス。唯其ノ根柢ニ於テ、當事者ノ合意若クハ協約ガ必要ダト云フコトガ調停ノ場合ト違フ。又調停ハ和解デアリマス。カシテ、何處迄モ當事者ガ合意ヲ合ツテ、宜イ所ヲ相談シ合ツテ事ヲ決メルト云フコトガ其ノ本質デアリマス。此ノ調停ニ付テ裁判所ノ關與セシメルト云フコトハ、ドウモ差支ヘナイト思フノデアリマス。之ヲ關與セシメナイト云フ理由ガドウモ大臣ノ御説明何ヒマシテモハツキリ致サナイノデアリマス。ソレカラモウ一ツハ不服ノ申立ガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ、政府ノ御答辭ヲ御覽ヒ致シマス。

○政府委員(吉武憲市君) 只今ノ御質問中、調停ニ若シ不正ガアツタ時、異議ノ申立ガ出來ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、勿論此ノ調停ハ雙方ノ意見ヲ聽イテ納得ノ行クヤウナ案ヲ作ルコトデアリマス。カラ、其ノ間自分ノ方ニ不服ガアレバ異議ヲ申立テラレルコトハ自由デアリマス。決定致シマシタ案ニ、異議ノ申立ガ出來ルカドウカト云フコトニナリマス。實ハ調停ニ付キマシテハ、強制調停ヲ致シマシテモ、其ノ調停案ヲ強制制ノ二押付ケルデハゴザイマス。カラ、不服ガアリ、信用ガ置ケナケレバ從ハナイコトニナルドラウト思ヒマス。從ヒマシテ只今ノ異議ノ申立ガ出來ルカドウカト云フコトハ、要スルニ其ノ調停案ニ納得ナルカドウカト云フコトニナルノデヤナイカト思ヒマス。

○吉田久君 誠ニ左様デゴザイマス。當事者ノ合意ガナケレバ無論調停ハ成立シマセウガ、其ノ前ニ、調停案ヲ作成シテ當事者ニ示スコト云フ關係ニ於テハ、決議ガ爲サレルト思フノデアリマス。其ノ決議案ノ前提トナル所ノ招集ノ手續ガ間違ッテ居ルト云フヤウナハ違法デアルト云フヤウナコトデ、ドウシテモ自分等トシテハ納得出來ナイト云フコトデ、異議ノ申立、不服ノ申立ガ出來ルカドウカト云フ趣旨ニ於テ私ハ御何ヒ致シタノデアリマス。調停案ヲ承諾致シマス。レバ是ハ勿論問題ハナイ、之ニ對シテ異議ヲ申立テル餘地ノナイコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス。

○中山太一君 私人失業問題其ノ他ニ付テ御尋ネシタイノデ、午後ニ會議ガアリマス。ナラバ、厚生大臣ト安定本部ノ長官トオ二方カラ御答辭ヲ願ヒタイト思ヒマス。何カ御座出馬來マセウカ、如何デゴザイマセウカ。

○委員長(男爵渡邊修二君) 本日午後

ハ速記者ノ都合デ開キニキイト思ヒマス。若シ大臣ノ御出席ヲ御求メデアレバ、豫メ申出ヲ戴キマシテ取計ヒタイト思ヒマス。

○中山太一君 ソレデハ又改メテ國務大臣ノ御出席ヲ願フコトニ致シマシテ、今日ハ關聯シタコトデ御尋ネシタイト思ヒマス。先程生産管理ノ問題ニ付テ當局カラ御答辭ガアリマシテ大體テ承致シマシタガ、此ノ平等デアリ總テ均等ノ權利ヲ勞資トモ持ツテ居ルデアリマス。カラ、此ノ際ニ、先程御説明ガアリマシタガ、財産權、經營權、勤勞權此ノ三ツガハツキリ分レテ居ル時ニ、或ハ團結力ヲ不法ニ、不當ニ行使シテ生産管理ニ移ルト云フヤウナコトハ、是ハ認メナイコトハ當然存ズルノデアリマス。是ハ經營權、財産權ノ侵犯スルモノデアツテ、反對ニ經營者ガ如何ニ自分ノ子飼トカ、關聯ナル者ガカラト言ツテ、勞働組合ノ中ニ是ガ入ッテ、色々ノコトヲ干渉スルト云フコトハ許サレナイ、是ハ絕對ニ勤勞權又其ノ團結權ヲ尊重シナケレバナラヌ、御互ガ相互ノ權利ヲ尊重シテ行クト云フコト、此ノ線ダケハ超エテハイカヌ。ソレガ而モ經營者、資本家ガ自分ノ方ノ者ヲ入レナケレバ解雇スルコトハ、或ハ何カ否認スルト云フヤウナ居ル經營權ヲ濫用シタモノデ許スベカラザルモノデ、同時ニ、經營權ノ方ニ對シテ威力ヲ以テ生産管理ニ移ルト云フヤウナコトニナリ、團體權ヲ濫用スルト云フコトニナレバ、是モ許スベカラザルコトデアル、是ハ政府ノハツキリシ決定デ不當ナリト云フ……刑法上デアルカ民法上デアルカ、ドテラニシテモ、色々ノ點カラ社會ノ秩序ヲ維

ソレハ又ソレト法親ニ反スルコトモアリマセウ、無斷デナクヤレバ、ソレハ會社官廳ガ承諾シタコトニナリマセウ、事實問題ニ於テソコデ決定サレテ、結局生監管理デアルカナイカ、官業ヲ換ヘレバ適法カ適法デナイカト云フロトヲ線ヲ引クコトハ事實ニ於テ出來ルト思ツテ居リマス

○中山太一君 時間ガアリマセヌカラ私一應是デ止メマシテ、日ヲ改メマシテ厚生大臣ガ御出席ノ時ニ御尋ネシタイ

○委員長（男爵渡邊修二君） 本日ハ是ニテ散會致シマス、次回ハ明後十三日、午前十時カラ開キタイト思ヒマス

午後零時七分散會
出席者左ノ如シ
委員長 男爵渡邊 修二君
副委員長 子爵高木 正得君
委員

公爵三條 實春君
侯爵東鄉 彪君
侯爵鍋島 直泰君
伯爵王生 基泰君
子爵秋月 種英君
子爵松平 乘統君
子爵大久保 教尙君
子爵三宅 直胖君
桑木 嚴翼君
吉田 久君
男爵松本 本松君
男爵山根 健男君
男爵山名 義鶴君
男爵中村 徹雄君
種田 虎雄君
我妻 榮君
竹中藤右衛門君
中山 太一君
片倉兼太郎君

國務大臣 秋田 三一君
古垣 鐵郎君
厚生大臣 河合 良成君
政府委員 同 厚生事務官 吉武 惠市君
富樫 總一君